



家とともに江戸彫物大工御三家と評される一派です。「神功皇后の三韓征伐」や「応神天皇を抱く武内宿禰」、中国の



天保6年八幡宮再興棟札
(総高1,120×肩高1,090×幅380mm)「八幡神社本殿」(町指定有形文化財) ※覆屋の外から見学可

八幡神社(津久根)
本殿は第11代將軍徳川家斉の代、天保5年(1834)に再建された建造物です。棟札に、大工棟梁新座郡館村(現志木市)高野武兵衛と、江戸浅草新堀の吉山定右工門(津久根村出身)ほか、和田村(大字西和田)の大工や、浅草茅町の彫刻師嶋村源蔵、江戸東本願寺前の石川藤吉・石川茂八などの名が記されています。嶋村家と石川家は後藤



「八幡神社本殿」(町指定有形文化財) ※覆屋の外から見学可

越生浪漫 No.164
江戸期の職人芸 一社寺建築一

故事などで飾られています。龍穩寺と熊野神社(龍ヶ谷)龍穩寺では同寺56世道海によつて造営された、天保12年建立の経蔵、同13年再建の山門、同15年再建の境内社熊野神社社殿が拝観できます。これらの建物の彫刻は、上州山之神村出身(現群馬県太田



「龍穩寺経蔵」(県指定有形文化財) 南面「道元禪師(日本曹洞宗の祖)猛虎調伏」



市)の公儀彫物師(幕府公認の彫物師)岸豊琳斎藤原義福(岸亦八)によるもので。龍穩寺所蔵「経蔵建立決算帳」によると、経蔵の建立には地元の大工や木挽(造材)のほかに、黒鍛(土工)棟梁に、のち



○訂正とお詫び
9月号掲載記事に地名の誤りがありました。誤「小木曾(現青梅市)」正「小曾木(現青梅市)」



「龍穩寺の山門(無相門)」(町指定有形文化財)、「熊野神社社殿」(町指定有形文化財)

にお台場の築造に携わる石積み名人「八徳の三吉」を起用し、壁面や天井画を山田抱玉(江戸琳派を代表する絵師酒井抱一の弟子)が手掛けるなどこだわり抜かれた豪華な造りとなっています。
大宮神社(上野)
文久3年(1863)に、大工棟梁に上野村の中嶋久



「大宮神社本殿」(町指定有形文化財) ※覆屋の外から見学可



梅園小学校

夏休み明けの成果を発表する場として、児童達が取り組んだ作品を一堂に展示する「夏休み作品展」を実施しました。夏休みに作成した作品を見合せて話し合い、今後の作品作成の参考としています。また、たくさんの保護者の方も来校していただきました。



現在、3歳児から5歳児を対象に、小学校就学へ向けて身体づくり運動の基盤をきちんと幼児期から養う事を目的に月に1回、2回、専門の講師の方をお呼びして体育あそびをしています。体育あそびから運動会の発表で子どもたちの成長を親子で感じてもらうこと、身体を動かす楽しさを



「大宮神社本殿」(町指定有形文化財) ※覆屋の外から見学可

越生小学校

防災の日にあたる9月1日(木)、地震と火災を想定した避難訓練を行いました。訓練では、指示にしたがい、静かにあわてず行動できました。越生女性消防団の方々にご指導いただき、家族で防災について日頃から話し合うことの大切さを学びました。ありがとうございました。

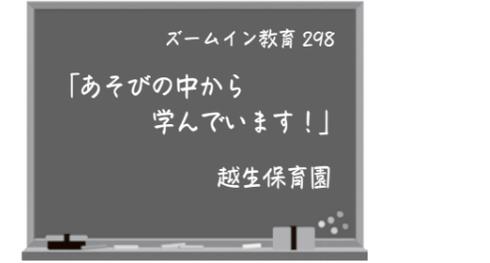


越生中学校

「防災の日」を前にして、8月30日(火)に大規模な地震が発生したことを想定して避難訓練を行いました。最近想定を超える大規模な災害があちこちで頻りに起きているため、「災害はいつでもやって来る」ことを自覚し、生徒たちは真剣に、敏速に避難できました。



おごせっ子広場
町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。



いろいろな運動あそびから成功体験を経験し、自信をつけています。
越生保育園では、0歳児から2歳児は落ち着いた環境の中で、ゆったりと一日が過ごせるように個々に合った保育に取り組んでいます。3歳児以上のクラスでは、生活やあそびの中からたくさんのご経験を、自分で考えて行動できるように環境作りを取り組んでいます。

体育あそびの中では、クマやクモ、ワニになりきって身体を動かすことで自然に腕や足の力をつけ、あそびながら体幹を鍛えています。身体を動かしてあそぶことが苦手だった子どもたちもスモールステップで進んでいくことで「やればできるんだ」「できるようになった」という自信を体育あそびを重ねることに高めています。

や経験すること、できたことへの成功体験を学ぶことができています。子どもたちは、「今日は体育あそびの日だね」「何をやるのかな?」「楽しみだね」とニコニコと嬉しそうに登壇し、講師の先生を見つけると、すぐに駆け寄り「よろしくお願ひします」や、「おはようございます」と声をかけます。